

働き方改革

「働き方改革」の考え方

「確かなグローバル・スペシャリティ・カンパニー」として多様な人財が活躍する会社を目指す中、特に遅れている日本でのダイバーシティ推進を加速すべく、味の素グループは、積極的に「働き方改革」に取り組んでいます。グローバル標準である1日7時間労働を前提としたフレキシビリティのある働き方を志向し、多様なライフスタイルを応援しています。

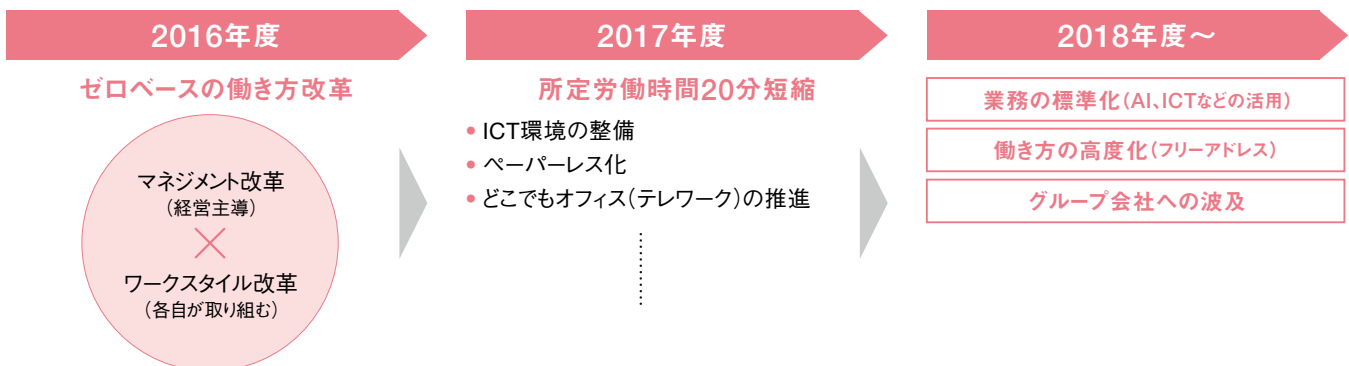
今までの経緯

- 2008年度 「味の素グループWLB(ワークライフバランス)ビジョン」の策定
- 2009年度 再雇用制度の導入
- 2010年度 育短勤務の利用期間拡大(小学校3年生生末まで)、育児休職15日分の有給化
- 2012年度 職場主体によるWLB向上の取り組み開始
- 2013年度 「Work@A~味の素流働き方改革~」の立ち上げ
- 2014年度 コアタイムなしフレックスタイム・時間単位有給休暇・テレワーク(在宅勤務制度など)の導入
- 2017年度 どこでもオフィス導入、休職制度の拡充、エリア申告制度の導入

2017年度までの主な施策

■ ゼロベースでの「働き方改革」

味の素(株)では、2016年度からゼロベースでの「働き方改革」のためのマネジメント改革およびワークスタイル改革に取り組んでいます。2017年度は、所定労働時間を20分短縮し、フレキシブルに働ける環境の整備を行いました。2018年度からは、さらに業務の効率化や働き方の高度化の取り組みを進め、「働き方改革」をグループ各社へと横展開していきます。



■ 味の素(株)のロードマップ

	2015年度	2016年度	2017年度	2018年度目標	2020年度目標
所定労働時間(1日)	7時間35分	7時間35分	7時間15分	7時間15分	7時間
年間平均総実労働時間	1,976時間	1,916時間	1,842時間	1,800時間	1,750時間
生産性向上 ^{*1}	—	—	107.5%	115.2%	—

※1 一人・時間当たり売上高(対2016年度)の割合

■ マネジメント改革

抜本的に働き方を改革するには、これまでの延長線上ではなく、経営主導で全社の仕組みやルールを変える必要があります。経営の重要テーマとして「働き方改革」を取り上げ、組織横断のプロジェクトとして「働き方改革」を推進しています。

● 会議改革

味の素(株)経営会議などの役員会議をペーパーレスにしました。社内の標準会議時間帯を9時から16時と定めているほか、金曜午後は会議を設定しないことを原則としています。「どこでもオフィス」と併せ、Web会議の積極的な活用を促進しています。

● メール改革

メール処理に要する時間が膨大との課題認識から、公文書などの一斉配信文書を掲示板化しました。これにより、2017年度の一斉配信メールが前年より73%削減されました。

■ ワークスタイル改革

残業を前提とした働き方から脱却するためには、一人ひとりの働き方やくらし方の意識を変える必要があります。味の素(株)では、家族と過ごす時間の充実や自己研鑽に充てる時間を創出し、WLBを向上させつつ生産性を最大化することを目的に、働く時間や場所を問わずフレキシブルに働くことができる環境の整備を進めています。

● どこでもオフィス

顔を合わせないと仕事ができないという既成概念を打破し、テレワークの実施場所や利用回数の上限を大幅に緩和した「どこでもオフィス」を2017年4月より全従業員を対象に導入しています。

● 所定労働時間20分の短縮

2017年4月より1日の所定労働時間を20分短縮し、7時間15分としました。2020年度までにはさらに15分短縮し、グローバル標準である1日7時間労働を目指します。

● 始終業時刻の大幅な前倒し

コアタイムなしフレックスタイムを前提とし、基本となる始終業時刻を大幅に前倒しました。例えば、本社では終業時刻を16時30分とし、加えてノー残業デーと定めた毎週水曜日は17時に消灯しています。

2018年度以降の施策

■ 業務の標準化・自動化

グローバル食品企業トップ10クラスにふさわしい「生産性」「創造性」の実現に向けた施策として、味の素(株)およびいくつかの日本国内グループ会社と共同で基幹システムの更新を行い、グループ横断で業務の標準化を進めていきます。

また、近年のAI活用や先端ICT技術を積極的に導入し、事務作業の効率化や、生産・物流の作業を自動化するなど、より付加価値の高い働き方への変革を加速していきます。

■ 働き方の高度化

「より質的な改革」の実現に向けて、ペーパーレス、フリーアドレスを拡大します。味の素(株) 本社では経営会議以外でもペーパーレスを進めるほか、全フロアをフリーアドレス化します。

■ 日本国内グループ会社への「働き方改革」の波及

「働き方改革」のコンセプトはグループ内で共有していますが、その実践にあたっては、事業内容や求める人材像に合わせて、グループ各社が独自に重点目標を定めて取り組んでいます。2018年度より「味の素グループ働き方改革推進会議」を開催し、日本国内グループ全体でシナジーを創出していきます。

TOPICS

テレワークの取り組みで、「第18回テレワーク推進賞 会長賞」受賞

「テレワーク推進賞」は、ICTを活用して場所や時間にとらわれない柔軟な働き方を可能とする「テレワーク」の普及促進を目的に、(一社)日本テレワーク協会が2000年より実施している表彰事業です。第18回を迎えた今年度は、「働き方改革が創造する活気あふれる社会を目指して」をテーマとしてテレワーク実践事例と促進事例が審査された結果、味の素(株)の「どこでもオフィス」が評価され、「会長賞」を受賞しました。

